

公益財団法人への移行について

浜松医療センターを運営する財団法人浜松市医療公社は、公益法人制度改革の中で公益性を認められ、平成25年4月から公益財団法人に移行し、新たな一歩を踏み出すことになりました。浜松医療センターの公益性が認められ公益法人に移行できましたのも、市民の皆様をはじめ、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、関連する病院や診療所などの関係団体のご助力の賜と感謝申し上げます。

公益法人とは、宗教や慈善、学術、技芸などの公益（広く社会の役に立つこと）を行う法人であり、公益目的事業に添う法人運営の重要性を再認識するとともに、その社会的責任の重さを役員一同改めて感じているところです。

これを機に、一層の研鑽を積み、より公益的な法人として社会的信頼に応え、より良い医療の提供に全力を傾倒することにより、基本理念である「安全・安心な地域に信頼される病院」の実現を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事務部長 上久保 明治



研修医として・・・Relay Essay

皆さんこんにちは。平成25年4月から臨床研修医2年の黒須健太です。早いもので研修医として1年が経ちました。広報を読んでらっしゃっている方の中にはどこかでお会いした方もいらっしゃるかもしれません。その頃よりも1つでも2つでも皆さんのお力になれるよう、また初めての方には安心して信頼していただけるような存在になれるようにこれからも努力していく所存です。また、これ以上太らないようにダイエットにも尽力していきます。

研修医 黒須健太

こんにちは。浜松医科大学を卒業し昨年4月より当院にて研修をさせていただいています。1年目の研修は大学での勉強してきたことと、実際の臨床に必要な知識の違いに驚き、病院での生活に慣れるのに必死で、言われたままに動いているだけであつという間に終わってしまいました。2年目の研修は、自分で問題点見つけ出して、少しでも自分で考えて仕事ができるように努力していきたいと思ひます。

研修医 原 聡史

診療科名称変更のお知らせ

当院では4月1日より診療科名称を下記のとおり変更いたします。

変更前名称	変更後名称
感染症科	感染症内科
リウマチ膠原病科	リウマチ科
血液科	血液内科
消化器科	消化器内科
呼吸器科	呼吸器内科
内分泌科	内分泌・代謝内科
外科	消化器外科
	外科（甲状腺疾患）
透析療法科	人工透析内科

* 4月1日から小児外科は廃止となります。

ふれあい



当院の医療機器管理センターチームが、平成24年度浜松市医療奨励賞を受賞しました。

目次

- ◆ 公益財団法人への移行について
- ◆ 診療科名変更のお知らせ
- ◆ 研修医として・・・Relay Essay
- ◆ こちら、リハビリテーション科 ～パート③～
- ◆ 臨床心理士について
- ◆ 浜松医療センター40周年にあたって
- ◆ 市民公開講座「よくわかる！子どものアレルギーと発達障害」



基本理念
安全・安心な、地域に信頼される病院

看護師募集中

～ 詳しくはホームページをご覧ください～

浜松医療センター

検索

～ ご自由にお持ちください～

〒432-8580 浜松市中区富塚町3 2 8 TEL 053 (453) 7111 : FAX 053 (452) 9217
URL <http://www.hmedc.or.jp> : E-Mail iryocenter@hmedc.or.jp
発行：浜松医療センター

こちら、リハビリテーション科！～パート3～

作業療法とは、食事・更衣・トイレ動作など、日常生活に必要な様々な動作を、その人に適切な方法で身につける訓練を行うリハビリテーションの一つです。

当院では病気やケガなどで体に障害を受け、手の細かい動作や日常生活が不自由になった患者さんに対して、物を持つ、スプーンや箸を使う、ボタンをかけるなどの動作が自立する事を目標に支援をしています。実際に訓練室だけでなく患者さんの生活の主体となる病棟の環境にあわせ、トイレ動作や食事場面での支援を行っています。

また、病気や事故によって脳に障害を受けた患者さんには、日常生活や社会復帰に必要な記憶や認知能力などを検査し、学校や職場に適應できるように訓練も行っています。

リハビリテーション技術科 作業療法士 和田静香



臨床心理士について

臨床心理士は、悩みを抱えた人への心理的な問題の克服や困難の軽減にむけて支援しています。悩みには精神的疾患から生じるものだけでなく、身体的疾患から生じるものや日常生活から生じるものもあります。浜松医療センターでは、多様な悩みを支援する目的で、臨床心理士が精神科だけでなく、緩和ケアチームに参加するなど多くの診療科で活動しています。

また、臨床心理士は病院以外でも幅広く活動しています。福祉や教育の分野では子どもの発育や発達などに関わる相談を行い、産業や労働の分野では、会社のメンタルヘルスにたずさわっています。大学や研究所では、心理学の研究や臨床心理士の養成を担っています。

その他、開業という形態で活動している心理相談施設などもあります。悩みの中には一人で抱えきれないものがあるかもしれません。そのようなときに皆様の身近で活動している臨床心理士を役立てていただきたいと思います。

臨床心理士 馬嶋里香



浜松医療センター40周年にあたって

平成25年（2013年）は浜松医療センター（平成23年4月より県西部浜松医療センターから病院名変更。以下、医療センターと略）が満40周年を迎える記念すべき年でございます。医療センターは浜松市が地域の医療水準の向上を願い、浜松市医師会中央病院（昭和37年設立）を発展させ、昭和48年（1973年）に設立した病院です。時代の流れは早いもので、医療の発展はめざましく、安全・安心、かつ、高度な医療が求められています。医療センターは、浜松医科大学関連教育病院であるばかりでなく、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院でもあり、健診センターも併設し、高度な機能を有する606床（一般600床、感染症6床）の病院として、救急・災害医療をはじめ小児・周産期医療、感染症・エイズ診療など地域で必要とされる公的な事業を行っています。満40周年を迎える本年4月からは公益財団法人浜松市医療公社へと移行し、新たな一歩を踏み出すこととなりますが、病院建物は老朽化していますので、本年は新病院建設に向けておおよその計画が策定される予定です。今後20年後、30年後を見据えた新病院を建設し、医療センターの理念である「安全・安心な、地域に信頼される病院」の実現をめざし、地域住民のいのちと健康を守る最後の砦としての役割を果たすべく職員一同努力する所存でございますので、引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。院長 小林隆夫

第19回市民公開講座 「よくわかる！子どものアレルギーと発達障害」

将来の日本を担う子ども達が健全に育つためには、健康とバランスの良い栄養と健全な親子関係および教育が重要です。今回の市民公開講座では、これらの4項目に深く関連し、罹患率が増加しつつある、アレルギー疾患と発達障害をテーマとします。

多くの方々のご参加お待ちしております。

- <日時> 平成25年6月8日(土)14時～16時30分
- <会場> アクトシティ浜松コンgressセンター31会議室
- <定員> 380人（直接会場にお越しください）入場無料
- <主催> 浜松医療センター
- <共催> 浜松市
- <後援> 浜松医師会 浜松市歯科医師会 浜松市薬剤師会
- <問い合わせ先> 総務広報係 TEL053-453-7111